

令和3年度地区防災計画活動報告発表会

中野方自主防災隊の編成見直し

中野方地域協議会

令和4年2月20日

1. 中野方の防災計画

“～おきもりで 昔も今も ささえあい～”

■基本的な考え方

「おきもりで 昔も今も 支えあい」



平成26年に制作した「中野方ふるさとかるた」の一句です。

「おきもり」とは昔、出征や病気、葬祭等で田植えなどの遅れた家へ親戚や近所の人が行き、農作業を手伝うことをいいました。このように、作業が遅れている家、災害にあった家を助ける自発的な地域の支えあいは昔からあり、今の地域防災につながるものです。

1. 中野方の防災計画

“～おきもりで 昔も今も ささえあい～”

■地域の特性



■面積 : 23.94 km²

■人口 1,478人 (令和4年2月)

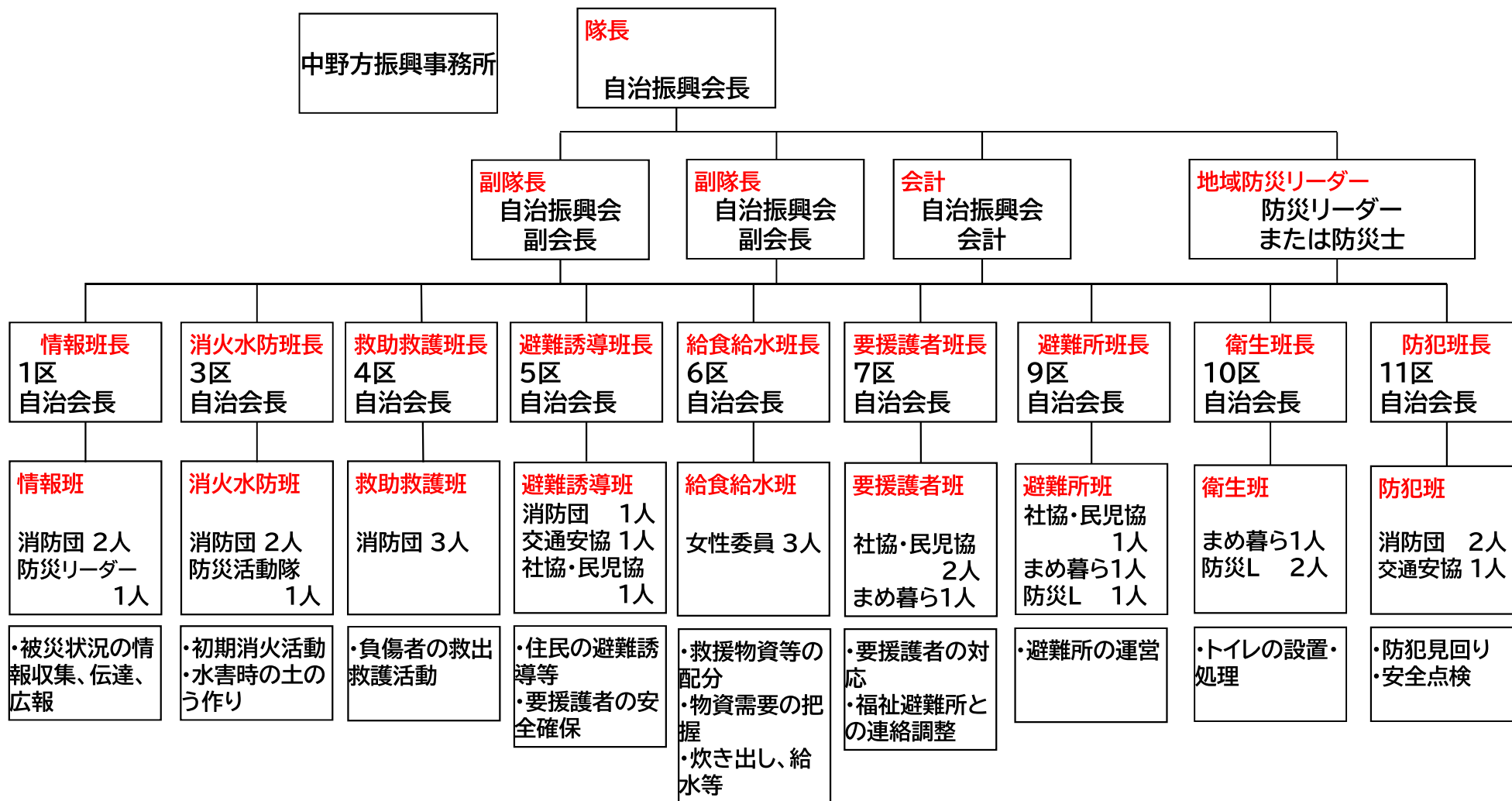
■世帯 : 556世帯

■高齢化率: 42.89%

●赤河断層が中野方川沿いに赤河峠付近に向かって延びており、断層崖となった急傾斜地が多く、土砂災害特別警戒区域等に数多く指定。

●標高の高い山々に囲まれたすり鉢状の地形のため、雨雲の溜まりを作りやすく、短い時間で一気に大量の雨が降り注ぎやすい。

2. 発足当時の自主防災隊の編成



- ・各班長には自治会長を割り当て、各自治会窓口は自治会で指定した者が行う。
- ・各種団体と連携し、必要に応じて協力を要請する。

3. コロナ禍における自主防災隊のあり方と現状の課題

“令和2年度、防災啓発ワークショップを開催！！”



コロナ禍の避難所の設営と運営

令和2年10月4日(日)

対象
自主防災隊メンバー

講師
防災士 岩井慶次さん

3. コロナ禍における自主防災隊のあり方と現状の課題

“令和2年度、防災啓発ワークショップを開催！！”



検温と消毒による事前受付を
建物の外で実施

段ボールベッド、パーテーション、
テントの組み立て



3. コロナ禍における自主防災隊のあり方と現状の課題

“令和2年度、防災啓発ワークショップを開催！！”



班ごとのグループで活動ワーク

- ・活動内容チェック
- ・資機材チェック
- ・課題の整理



3. コロナ禍における自主防災隊のあり方と現状の課題

“令和2年度、防災啓発ワークショップを開催！！”

【主な意見】

自主防災隊組織の見直しが必要

- ・各班の班長は自治会長が適任か？
 - 知識、経験なく不安
 - 任期2年で交代
- ・各班の構成員に消防団員が多数
 - 指揮命令系統異なり有事の際自主防災隊の活動ができない



4. 見直し後の自主防災隊

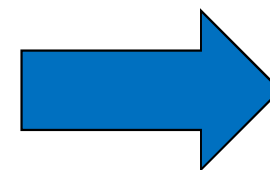
“災害発生時本当に動ける組織へ！！”

令和3年度 地域協議会内に「防災専門部会」を設置

防災専門部会
構成員＝8人

防災課題の
解決を図る
ため協議

地域協議会
まちづくり連絡会
地域防災リーダー
防災活動隊
交通安全協会支部
民生児童委員協議会
消防団
女性防火クラブ



意思決定機関

地域協議会運営委員会

4. 見直し後の自主防災隊

“災害発生時本当に動ける組織へ！！”

★見直しのポイント★

◇各班の班長は「防災士」が担う

◇隊長を地域協議会長とし、副隊長には地域防災リーダーを充て副隊長の下に防災士である各班長を位置付ける。

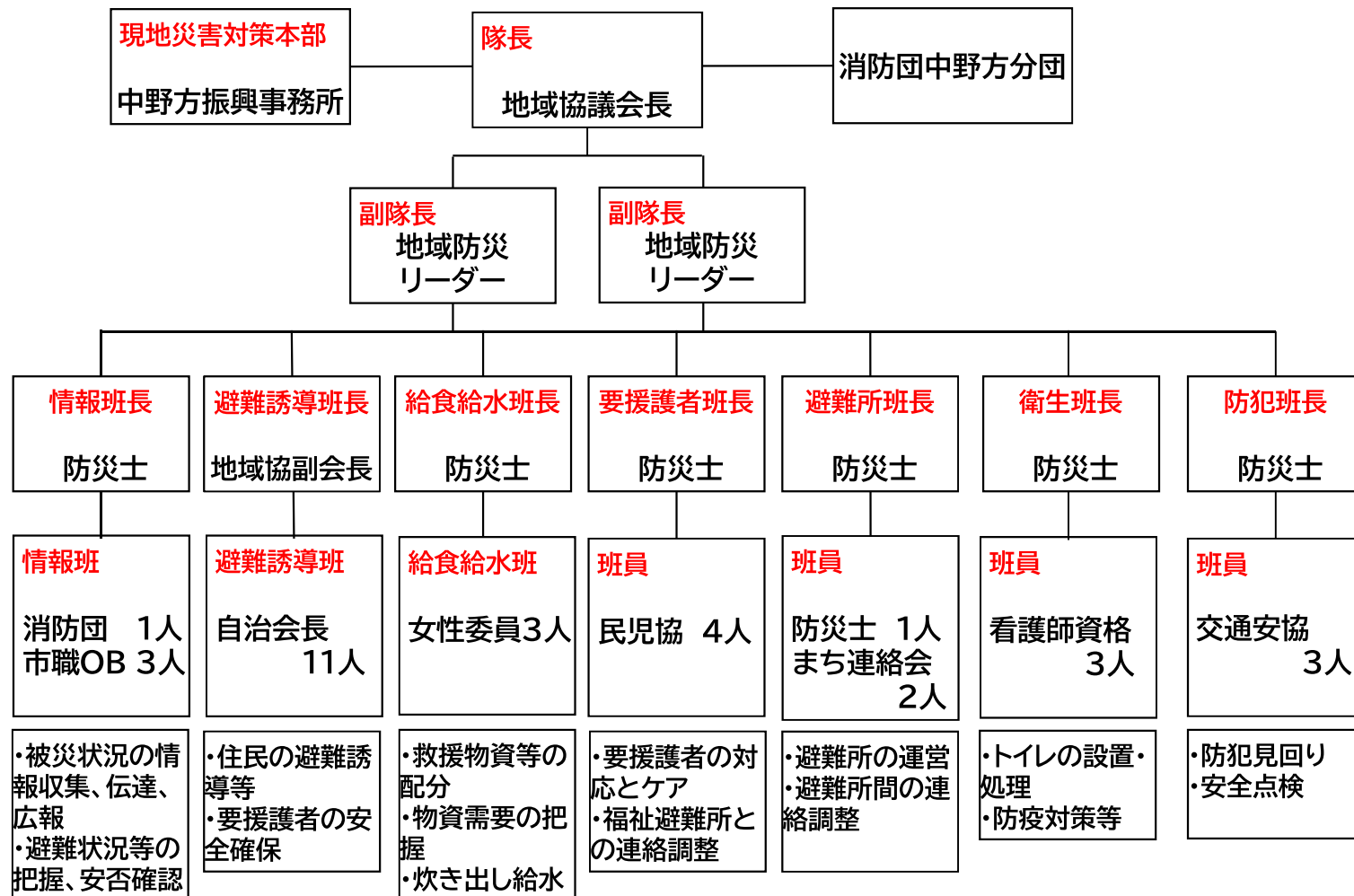
◇消防団員を原則外し、別組織として連携を図る。

◇消火水防班と救助救護班を廃止し組織をスリム化。一方で情報班を充実させる。

◇看護師の有資格者など専門知識を持った方に協力を依頼

4. 見直し後の自主防災隊

“災害発生時本当に動ける組織へ！！”



4. 見直し後の自主防災隊

“災害発生時本当に動ける組織へ！！”

★今後の活動★

- ◇各班の役割や業務内容を地区防災計画を基に確認、検証
→必要に応じて地区防災計画の見直し
令和3年度研修会を2回企画 → コロナによりいずれも中止
- ◇各班の手順書（マニュアル）の作成